

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021年 1月 16日

事業所名：こどもサポート教室 きらり上島校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	②	職員の配置数は適切であるか	6			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	2	ホワイトボードが不安定 →パーテーションを新調し、危険のあるホワイトボードは撤去した。 玄関出るとすぐ道路 バリアフリー化は不十分 (上長には報告済み)
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		1	毎年ホームページに掲載済。職員には周知した。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	2	検討中
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			S D Q プロファイルを利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			都度、職員間で話し合いが行われている。 子どもの発達に応じて変えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2	1	コロナ禍の為、集団活動の回数は極力抑えられている。 個別支援が主であるため、集団で活動する機会は、お楽しみで他児とかかわるのが主となっている。

	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			打ち合わせを行っている。 チャットを利用している。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		1	帰りは時間の余裕がないため、翌日の朝に行っている。チャットも利用し共有している。
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	2		
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		1	サービス担当者会議が行われたことがない
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5		1	送迎がないため、行事などの確認はホームページを活用したり、保護者からの情報を得るようにしている。
機関や保護者との連携	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		1	児発も行っている多機能事業所のため、就学前の情報は自事業所にある。
機関や保護者との連携	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	何らかの形を取り情報交換できると良い。希望があれば行う予定である。
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		発達支援事業所やその他協力機関により事例検討、研修等で助言をいただいている。
機関や保護者との連携	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		5	イベント時、利用者の兄弟を交えて今年は極力利用者のみにして頂いている。
	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1	放課後支援連絡協議会の会議に参加している。職員には周知済み
機関や保護者との連携	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っているか	2	2	2	支援後に保護者からの相談にのっていた。ペアレン特レーニングプログラムの確立はしていないが、相談は受けている。必要に応じて外部機関との連携を図っている。

保護者への説明責任等	⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2	通常、年2回は行っている。 本年度は行っていない。（コロナの影響を受けて）今後もこのような状況が続くようであれば、リモートでの開催を考えている。
非常時等の対応	⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	4		ホームページの作成、活動報告をしている。
	⑮ 個人情報に十分注意しているか	6			
	⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	希望されない方もいるため、積極的には行っていない。本年度は利用者のみ。
	⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		
	⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			毎月一回、実施している。
その他	⑳ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	㉑ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		身体拘束を行う必要の子は1名、保護者の了解を得て計画にも記載したが、その子が成長し必要がなくなった。 現在必要となる子はない。
	㉒ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				
	㉓ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 1月 16日

事業所名：こどもサポート教室 きらり上島校 保護者等数（児童数）： 76回収数： 49割合： 64%

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	42	6	1	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中大変だと思う。 スペース、個人対応に対して密にならないよう十分なスペースがとられている。 →パーテーションを1つ増やし、密にならない様、配慮いたしました。また遠隔支援も行っております。お声掛けください。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	44	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 先生間の引継ぎが出来ていないと感じる。(次はこれやりますと言ったのにやらない) →職員間の引継ぎは常に行っておりますが、ご意見を真摯に受け止め、今後も口頭と記録の確認を通して十分に行っていきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	24	2	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場スペースが少ないので送迎時が困る。 →塾部門と話し合い調整いたします。
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 [†] が作成されているか	45	3	0	
適切な支援の提供	⑤	活動プログラム [‡] が固定化しないよう工夫されているか	41	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 子供の理解によるが、同じ（進み具合）内容での問題が続いているような気がする。 →定着を図るため、継続して行うケースもございます。なるべく多くの経験をしていただけるよう工夫してまいります。またご要望がございましたらお伝えいただき、職員間で話し合いの上、対応いたします。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	17	23	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の為仕方がないと思う。 →集団療育ではないため、難しい面ではございますが、コロナ終息の際には検討していきたいと思います。

						経路の掲示を行っています。様子はホームページにも掲載しております。
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	38	11	0	<ul style="list-style-type: none"> 先生方がやさしいので楽しいようです。 勉強が不得意なため、仕方なく本人は感じている。
	⑰	事業所の支援に満足しているか	44	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 親子満足しています。 苦手なスケッチや点画を行うことで、自分の表現や興味のあるものの1つになりました。苦手なことに対して、逃げない事を学びました。 基本的によく対応してくださっていると思われる。 <p>→これからもご期待に応えられるよう努力してまいります。</p> <p>・上浅田校も設置してほしいです。</p>

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するまでの留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。